

親子聖書日課

[日]主は神殿から離れていきます。偶像礼拝が行われたからです。私達も御言葉に聴従せず、祈りもせず、交わりだけを求めるなら、主は出て行かれます。教会を主の栄光で満ち溢れる所にしましょう。ケルビムとは神の栄光の象徴です。

[月]主を信じると、心は変わります。石の心(罪を認めない)が、肉の心(へりくだって悔い改める)に変わり、人を赦して、仲直りできます。それは、主の「新しい霊」が与えられ、御言葉を行うことができたからです。心を開くなら、誰にも与えられます。

[火]夢は人間の側で描くものですが、幻は主の側で描いたものを一方的に下さるのです。ですから夢と違って全て実現します。会堂建築がそうでした。幻が与えられるためには、御言葉と祈りが不可欠です。幻のある所に宣教が進展します。

[水]「破れ口を上ろうとせず」不満を言って、楽な生活を送っている、教会は立ち行きません。「破れ口」は自分の体を張って奉仕し、担わなければ塞がりません。主は福音のために、破れ口を上る人を求めておられます。一緒に上りましょう。

[木]義人ノア、ダニエル、ヨブの3人が束になってとりなしても、人の罪は救われません。ただ主イエスの十字架の贖いによってのみ、罪から救われるのです。全ての人を救うことができるのは、主イエス以外にはないと、声を大にして伝えましょう。

[金]主はイスラエルをすばらしい実を結ぶ国にし、彼らによって全世界を祝福しようとされました。しかし、彼らは不信を重ね、失格者になりました。私達も御霊の実(愛・喜び・平安など)を結ぶために存在していますから、主の幹につながりましょう。

[土]元々異教的起源をもつエルサレムは生まれた時、へその緒を切る者もない惨めな姿でした。その血にまみれた赤ん坊に『生きよ』と主は言われたのです。私達は霊的に死んだ者です。「生きよ」との声を聴き、霊の人として成長しましょう。



NO.1914 2025.6/1-7

名前

	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 10:1-22	何が神殿の敷居の上から出てケルビムの上にとどまりましたか。	
月	11:1-25	主は彼らの肉から石の心を除き、何の心を与えますか。	
火	12:1-28	その日は近く、何はすべて実現しますか。	
水	13:1-23	主の日の戦いに耐えるために、城壁の何に上りませんでしたか。	
木	14:1-23	ノア、ダニエル、ヨブがいたとしても、誰の命しか救えませんでしたか。	
金	15:1-8	どの木よりもすぐれていると言われたのは、何の木ですか。	
土	16:1-22	主は血まみれのお前に向かって、何と言われましたか。	
感想と祈りの課題			